

(4) 科目標準配当表（建築学専攻（高度工学コース））

科目コード	科目名	担当教員	毎週時数		単位	科目区分				履修指定
			前期	後期		コア科目	基礎科目	発展科目	ORT科目	3年型
										博士
10Q021	先端建築学特論Ⅰ	計画系・環境系関係教員	2		2	○				○
10Q022	先端建築学特論Ⅱ	構造系関係教員		2	2	○				○
10Q005	建築設計・計画学セミナーⅠ	計画系関係教員	2		2				○	○
10Q006	建築設計・計画学セミナーⅡ	計画系関係教員		2	2				○	○
10Q017	建築設計・計画学セミナーⅢ	計画系関係教員	2		2				○	○
10Q018	建築設計・計画学セミナーⅣ	計画系関係教員		2	2				○	○
10Q008	建築構造学セミナーⅠ	構造系関係教員	2		2				○	○
10Q009	建築構造学セミナーⅡ	構造系関係教員		2	2				○	○
10Q015	建築構造学セミナーⅢ	構造系関係教員	2		2				○	○
10Q016	建築構造学セミナーⅣ	構造系関係教員		2	2				○	○
10Q011	建築環境工学セミナーⅠ	環境系関係教員	2		2				○	○
10Q012	建築環境工学セミナーⅡ	環境系関係教員		2	2				○	○
10Q013	建築環境工学セミナーⅢ	環境系関係教員	2		2				○	○
10Q014	建築環境工学セミナーⅣ	環境系関係教員		2	2				○	○
10i051	#現代科学技術の巨人セミナー「知のひらめき」(6Hコース)	(ER)前田・松本・蘆田・萬・金子・関係教員	集中		0.5			○		○
10i052	#現代科学技術の巨人セミナー「知のひらめき」(12Hコース)	(ER)前田・松本・蘆田・萬・金子・関係教員	集中		1			○		○
10i045	#◎実践的科学英語演習Ⅰ	(ER)西川・松本・蘆田・前田・萬・金子	(2)		1			○		○
10i041	#◎科学技術者のためのプレゼンテーション演習	リントウルオト	(2)		1					○
10i042	#◎工学と経済(上級)	リントウルオト	2		2					
10i010	#工学研究科国際インターンシップ1	(ER)西川、関係教員	集中		1					○
10i011	#工学研究科国際インターンシップ2	(ER)西川、関係教員	集中		2					○
10i049	#◎エンジニアリングプロジェクトマネジメント	(ER)松本・蘆田・前田・萬・金子・リントウルオト	2		2					
10i059	#◎エンジニアリングプロジェクトマネジメント演習	(ER)萬・前田・金子・リントウルオト		(4)	2					
10i055	#現代科学技術特論(4回コース)	(ER)萬・前田・金子・関係教員		2	0.5					
10i056	#現代科学技術特論(8回コース)	(ER)萬・前田・金子・関係教員		2	1					
10i060	#現代科学技術特論(12回コース)	(ER)萬・前田・金子・関係教員		2	1.5					
	研究論文(博士)								○	必修

1. 科目内容の詳細(シラバス)については、KULASISを参照すること。
2. 上表に記載のない工学研究科共通科目については、履修登録時に指導教員の指導の下で専攻長の承認を得ることによって、4単位まで修了に必要な単位と認めることができる。日本語教育科目については修了に必要な単位としては認定しない。
3. 建築設計・計画学セミナーⅠとⅢ、ⅡとⅣは同一年度に履修できない。
4. 建築構造学セミナーⅠとⅢ、ⅡとⅣは同一年度に履修できない。
5. 建築環境工学セミナーⅠとⅢ、ⅡとⅣは同一年度に履修できない。
6. 科学技術者のためのプレゼンテーション演習、工学と経済(上級)、エンジニアリングプロジェクトマネジメント、エンジニアリングプロジェクトマネジメント演習、工学研究科国際インターンシップ1、工学研究科国際インターンシップ2は、修了に必要な単位としては認定しない。
7. 建築学専攻(修士課程)の科目標準配当表に記載されている「建築士受験資格における実務経験に該当する科目」は履修することができる。
8. 「現代科学技術の巨人セミナー「知のひらめき」」は、計4週の集中講義を実施する。「6Hコース」は、4週の講義のうち2週の講義を選択し受講すること。「12Hコース」は、4週の講義すべてを受講すること。履修登録時にどちらかを選択すること。また、平成30年度以降開講の「現代科学技術の巨人セミナー「知のひらめき」(6Hコース)・(12Hコース)」は、平成29年度までに開講した「現代科学技術の巨人セミナー「知のひらめき」」とは異なる科目として取り扱う。

9. 「現代科学技術特論」は、3つのトピックに対し、各4コマの講義を実施する。「4回コース」は、いずれか1つのトピックを選択し受講すること。「8回コース」は、いずれか2つのトピックを選択し受講すること。「12回コース」は、3つのトピックを受講すること。履修登録時にいずれかを選択すること。また、平成30年度以降開講の「現代科学技術特論（4回コース）・（8回コース）・（12回コース）」は、平成29年度までに開講した「現代科学技術特論」とは異なる科目として取り扱う。